

## 2017年度水俣フォーラム 事業報告

2017年度は昨年度に引き続き「水俣病60年事業」に大きな力を注いだ。熊本での水俣展は、ともに主催するグリーンコープや地元の協力者・サポーターと準備会合や事前学習を重ね、広報にも力を入れたことで開催前からメディアにも数多く取り上げられた。総入場者9,578人は、掲げていた目標2万人の半数以下に留まったとは言え、今回を含む25開催中のこれまで第3位だった札幌展を13年ぶりに超えるもので、現在の世相を鑑みても誇るべき水準に達した展覧会となった。また、水俣病患者と家族の方をはじめ、半世紀以上に及ぶこの事件のいずれかの時期に深くかかわった方々の姿が数多く見られたのは、他都市の開催ではないことだった。一方で、展示物の全面リニューアルや水俣病講演録の出版を本展準備と並行して進めることができず、展示リニューアルは一部のみになり、講演録は出版を4月に延期、水俣展全図録も刊行に到らなかった。このほか、福岡で開催した水俣病記念講演会は、緒方正実さんをはじめ4人の講師を迎え、満席を超える来場を得られた。また、「水俣展」を全国で巡回開催するなどの活動が高く評価され、東アジア地域の環境保全に貢献した団体・個人を表彰する毎日新聞社「日韓国際環境賞」を受賞した。引き続き会員・協力者の力を得ながら、来年度の活動に臨みたい。

### 1. 水俣病公式確認60年記念事業

①水俣病展2017の開催、グリーンコープ、熊本日新聞社と共催

(11月16日～12月10日、熊本県立美術館分館、入場者数9578人)

②水俣展全図録の編集(2019年完成予定)

③展示物のリニューアルと新規制作(2019年完成予定)

2017年度はクロニクル21枚、「ありし日に」「花を奉る」「村のこころ」を新作し、展示映像用モニター12台を購入

④水俣病図書目録の販売(2017年3月1000部刊行、2017年度に341部販売、246部贈呈)

⑤水俣病講演録の編集(2018年4月12日刊行予定、岩波書店、2冊組)

### 2. 講演会開催

①水俣展サポーター会議 キックオフ講演会2

(4月22日、熊本学園大学高橋守雄記念ホール、391人)

②水俣病記念講演会 第16回

(4月29日、光円寺本堂、324人、水俣・福岡のつどい開催会議、グリーンコープと共催)

③水俣セミナー 1回開催(野上隆生講師)、9月、常円寺、42名

④石牟礼道子さんを送る 開催準備(18年4月15日、有楽町マリオン)

### 3. その他の事業

①水俣病ライブラリーの整理(書籍、映像、写真、音声)

#### 4. 総会・理事会・運営委員会

- ①総会 6月3日、出席者数30人、表決委任者数436人（正会員822人）
- ②理事会・運営委員会 理事会1回、合同運営委員会5回、出席率81.3%

#### 5. 事務所機能向上のための取り組み

- ①旧展示物を含む倉庫の一部整理 11月

#### 6. 17年度助成、補助金、表彰

- ①環境再生保全機構地球環境基金助成金、380万、3年計画の3年目  
「水俣病60年記念事業のうちの水俣病図書目録と水俣展図録の作成」
- ②第23回日韓国際環境賞受賞、賞金1万ドルと副賞